ともレポ

volume 65

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

～仙台の冬の新たな風物詩へ～　賑わう冬の市民広場
Sendai Winter Parkクリスマスマーケット2016

Sendai Winter Park CHRISTMAS MARKET 2016

平日、休日を問わずたくさんの家族連れ、カップルで賑わっている。

光のベージェントの世界観とドイツ製の木製小屋（ヒュッテ）、それを彩るたくさんの装飾たちが、仙台の冬の新たな風物詩になろうとしている。

会場では、温かいグリューワインやシュトーレン、ソーセージなどのドイツ料理、地元ハムメーカーや焼肉店の本格肉料理、そしてキャンドルやクリスマス雑貨などが売られている。

寒い仙台の冬ではあるが、会場内の大型テントには暖房が完備され、寒さを気にせずクリスマスならではの食事を楽しめるのがうれしい。

ヨーロッパの各都市では、クリスマスとその前4週間の準備期間を「アヴェンド」と呼ぶが、仙台においてもクリスマスだけではなく、それまでの期間を楽しむ時間が文化として根付いていくことで、たくさんの出会いや思い出が生まれていくかもしれない。

開催日時／12/9（金）～25（日）12:00～21:00 ※最終日は19:00終了
（スターライトリンク営業時間　平日15:00～21:00、土日祝12:00～21:00）
会　　場／勾当台公園市民広場
主　　催／SENDAI光のベージェント実行委員会
共　　催／仙台放送

山元町・青巣稲荷神社で6年ぶりに伝統神楽が復活

今年の11月6日、山元町に鎮座する青巣稲荷神社で、6年ぶりに伝統神楽が復活しました。震災により本殿も鳥居も流失。神社保存会のメンバーの方が亡くなり、衣装等も流されました。仮社殿ができ、祭りは再開したものの、神楽の復活は見送られてきました。6月、ご縁をいただき、東北の神社仏閣再建の寄付を目的に発売された「福を呼ぶ　四季みくじ」の売り上げの一部を神楽復活に役立てて欲しいと、青巣稲荷神社の藤村和敏宮司に寄付いたしました。保存会の皆さんが稽古を重ね迎えた、祭り当日。曇っていた空も、神楽奉納の際にはみるみる青空に。町の皆さんはもちろんのこと、神様もこの日を心待ちにしていらっしゃったのだろうと、胸が熱くなりました。

宮城の新たな特産品として期待 生がおいしい「伊達いわな」

栗駒山の中腹にある栗原市耕英地区は「イワナ養殖発祥の地」。昭和46年に日本で初めてイワナの養殖に成功しました。このイワナが宮城県の養殖業の復興の1つとして、新たな特産品としてのブランド化に向けた取り組みがスタートしました。「全雌三倍体」という800gにもなる大型魚として作出に成功し、『伊達いわな』と命名。川魚特有の臭みがなく、刺身で食べられるイワナとして注目を集めています。今後、県内の飲食店にて提供予定。宮城の新物・伊達いわなのおいしさを、ぜひお店でご賞味ください。

伊達いわなに関する情報は下記URLよりご覧ください。
http://machico.mu/jump/ad/102658

ともレポ

volume 66

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

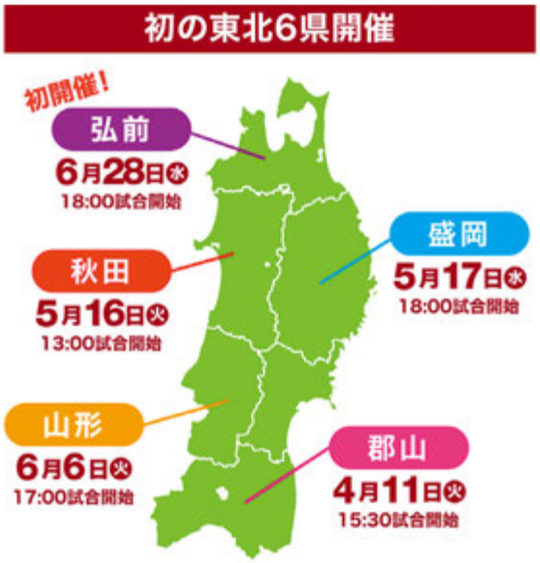
ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

楽天イーグルス　球団創設初・青森県で一軍公式戦開催決定!
2017シーズンは東北6県全てで一軍公式戦が観戦できるようになりました。

日本野球機構は2017年シーズンのパ・リーグ一軍公式戦の日程を発表し、6月28日（水）に青森県弘前市のはるか夢球場で「東北楽天ゴールデンイーグルスvsオリックス・バファローズ」が開催されることが決定しました。

青森県での一軍公式戦は1988年以来29年ぶり、パ・リーグ主催試合としては33年ぶりの開催となり、県内での開催決定について、立花陽三球団社長は「東北にある球団として6県全ての一軍公式戦開催は念願だった」、岩手出身で選手会長の銀次選手は「東北復興のために頑張っている皆さまや見ていただく方々に勇気や元気を届けられるよう精いっぱい頑張る」とそれぞれコメントを発表しました。

今から楽しみですね。東北6県で楽天イーグルスを応援して、一緒に東北を熱くしよう!



ユニフォームやバンバンスティックなどの来場者プレゼントもあります!
詳しくは球団WEBサイトをご覧ください。
http://www.rakuteneagles.jp

～東北の生産者とともに～
伊達美味マーケット in サンモール一番町

今春、4年目を迎える伊達美味マーケット。地域のお店やお客様に支えられ、毎回賑わいをみせています。東北各地から集まる出店生産者さんは、お客様とのコミュニケーションを通し、納得してお買い物していただくことで、日々農業へのモチベーションを高めています。

生産者の「あの人に食べてもらいたい!」、お客様の「あの人から買いたい!」という気持ちのつながりが、真冬の商店街に暖かな風を吹き込んでいます。今後も、伊達美味マーケットは東北の生産者と共に、安心・安全な商品の提供はもとより、人と人をつなげ地域を元気にする場所を目指していきます。

開催日時／1/24(火)～26(木)、2/14(火)～16(木)、2/28(火)～3/2(木)、
3/14(火)～16(木)、3/28(火)～30(木)
※毎月2回目の火～木曜、4回目の火～木曜
11:00～18:00
会場／サンモール一番町商店街アーケード内
アクセス／地下鉄東西線青葉通一番町駅、南1出入口を出てすぐ

永澤農園　自家製林檎ジャム

高橋農園　カラフル人参

みのりガーデン　雪下キャベツ

DATEC　あんぽ柿

やまがた農産物販売企画　マッシュルーム

ともレポ

volume 67

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

東北の魅力と情報が満載! さらにお得な特典も!
スマートフォンアプリ「ガイド東北」!

※表示している対象施設は撤去前の映像を使用しており、現存しておりません。

東北地方の国の機関と6県・仙台市等が共同で制作し、東北の災害、社会資本、宿泊、飲食など3,000ヵ所以上の情報が集まったスマートフォンアプリ「ガイド東北」。手軽に現地情報を得られるだけでなく、飲食店で割引サービスが受けられるなど、意外と使える機能が満載。

今春からは、スタンプラリーで得られる特典として非公開の場所への訪問体験や非売品・限定品がもらえる企画が予定されるなど新たな動きに要注目。

Android、iOSともに「ガイド東北」で検索すれば簡単にダウンロードができます。

問合せ／ガイド東北制作委員会事務局（国土交通省東北地方整備局内）
E-mail:thr-guide-tohoku@mlit.go.jp
http://www.thr.mlit.go.jp/guide-tohoku/

仙台出身、世界的なタップダンサー熊谷和徳さん
『東北タップダンス&アートフェスティバル2017』開催!

2016年、ニューヨークにおけるダンスの最高峰BESSIE AWARDにおいて最優秀パフォーマー賞を受賞した世界的なタップダンサー熊谷和徳さんが開催する当イベント。本場ニューヨークからのゲストをはじめ、素晴らしいダンサーたちが仙台市に集います。

タップダンス公演はもちろん、タップダンスワークショップ、アフリカンパーカッションやドローイングなどの多彩な体験ができるほか、パネルディスカッションや映像など様々な角度からタップダンスの魅力に触れ、楽しめる企画が満載です。

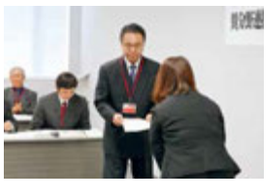
開催日時／2017年3月10日（金）～12日（日）
※時間は日付により異なります。
会場／日立システムズホール仙台
シアターホール、ほか

震災遺族の大切な思い出の品が永遠の輝きを放つダイヤモンドに。

去る2月3日、東北経済産業局の会議室において、異分野連携新事業分野開拓計画の認定式が行われました。異なる分野の企業同士が有機的に連携し、新事業の開拓を図るという、この取り組み。今回認定を受けたのは、仙台市内で7葬儀会館を運営する株式会社花祭壇（本社:宮城県仙台市　代表取締役:曳地智氏）。その新規事業の内容は、東日本大震災を風化させないために、形見からダイヤモンドをつくり提供するものです。

震災から6年を経た今でも、行方不明となられている方は2,500名以上にものぼります。残された遺族は、心の整理もつかぬまま、遺品に寄り添うことしかできないのが現状です。こうした震災遺族の心を癒すためにも、遺族の想いを何か形にはできないか。身に付けたり身近に置いたりすることのできるものはつくり出せないか。試行錯誤の中で同社がたどり着いたのは、故人の形見の品を色褪せることなく、永遠に輝き続けるメモリアル・ダイヤモンド（仮称）に生まれ変わらせ、遺族の方々に届けるというものでした。

メモリアル・ダイヤモンド（仮称）は、遺髪、遺品、記念品などに含まれる炭素を材料とし、国内新技術によって製作されます。また、“命を吹き込む・宿す”をテーマに、遺族が大切にしていた形見をダイヤモンドへ生まれ変わらせる過程が実際に見られるセレモニー施設「想い出ラボ」も来年度以降に設置予定となっています。メイドインジャパンの技術を駆使し生み出されるメモリアル・ダイヤモンド（仮称）は世界最高水準の品質を実現するのも大きな特徴。いつかは色褪せてしまうと不安を感じていた遺族の大切な思い出の品が、いつまでも輝きを放つダイヤモンドとなって新たな時を刻み始めます。



ともレポ

volume 68

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

仙台あおば学舎、八木山ベニーランド観覧車ネーミングライツを取得

宮城県内に学習塾『仙台あおば学舎』を運営する、株式会社あおがくは、2018年4月に50周年を迎える、八木山ベニーランド（仙台市太白区長町越路19-1）の観覧車の今後2年間のネーミングライツ（遊具命名権）を取得しました。

八木山ベニーランドの50年の歴史の中で初のネーミングライツとなり、今後2年間の観覧車のネーミングライツは「観覧車～Presented by 仙台あおば学舎」と命名されます。

八木山ベニーランド側と保育園・学習塾を運営するあおがく側の両社の事業共通性があることに加え、未来ある子どもたちの教育と地域の活性化をはかりたいという認識が一致し、今回のネーミングライツ取得にいたりました。

桜を描こう 仙台から熊本へ 桜の花を届けよう!

東日本大震災から6年が経過しましたが、震災からの復興は、未だ道半ばです。

商工中金仙台支店では「心の復興支援」をテーマにさまざまな取り組みを行ってきました。

そのひとつとして3月22日（水）に水彩画家の柴田 治氏による、もの作りワークショップが開催されました。内容は桜をテーマとした水彩画を2枚のはがきに描くというもの。1枚は自分のために、もう1枚は商工中金熊本支店のロビーにて展示され、たくさんの方にご覧いただく予定です。

鮮やかな桜の水彩画はもちろん、参加した皆さんの明るい笑顔が印象的なワークショップとなりました。

【お問い合わせ先】
商工中金　仙台支店　窓口サービス課　（担当：古川、堀越）
TEL.022-225-7411

亘理町が「同時にいちご狩りをした最多人数」でギネス世界記録®を

亘理町では、震災の津波被害により、約9割のいちご農家が被災しました。しかし、2013年9月には、町内3ヵ所にハウスを集約した「いちご団地」での栽培再開にこぎつけ、2016年産の売上高は、震災前と比較して約8割の18億円まで回復しています。

そのような状況の下、震災からの復興を遂げるべく奮闘する町の姿と、生産する県オリジナル品種のいちご「もういっこ」を発信すると共に、これまで支援いただいた全国の方々に感謝を込めて、「1,000人で一斉にいちごを摘み取るギネス世界記録」に挑戦するという壮大なプロジェクトは動き始めました。

そして迎えた3月5日。会場の浜吉田いちご団地は、早朝から人々の熱気に包まれました。

町内はもとより、遠くは横浜市まで、事前に申し込んだ参加者が、開始1時間前から、受付場所の亘理山元いちご選果場に続々と集結。

オープニングセレモニーの後、挑戦の舞台となるハウスに移動し、ギネスワールドレコーズのギネス世界記録公式認定員から注意事項の説明を受け、スタートの時を待ちました。

午前10時57分。公式認定員の「3、2、1、ゴー。」のかけ声を合図に、参加者が真っ赤に実ったいちごを5分間摘み取り続けました。

それから45分後、厳格な審査を経て、「一つの会場で同時にいちご狩りをした最多人数」1,141人によるギネス世界記録達成が告げられると、待ちわびた参加者から歓声が上がり、手を取り合って喜び合う光景が会場に広がりました。

ともレポ

volume 69

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

復興が進む大地に新たな感動を。「東北・みやぎ復興マラソン2017」参加ランナー募集中!

仙台放送では、今年10月1日（日）に『東北・みやぎ復興マラソン2017』を初開催します。この大会は、東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県の沿岸部、名取市、岩沼市、亘理町にまたがるエリアをコースにした、宮城県では震災後初となる公認フルマラソン大会（予定）です。大会当日の様子は仙台放送とBSフジで同時生放送。マラソンを通して被災地復興の“今”を日本や世界に伝えます。現在、一般ランナーのエントリーを募集中です。皆さまのご参加お待ちしております!

エントリーはこちらから
http://www.fukko-marathon.jp/

4月29日（土）は昭和の日。ご当地トマトみそナポリタンで東北を元気に!

日本の食卓・外食に根付いたナポリタンの可能性は無限大!　カゴメ㈱では新しいナポリタンメニューを開発し、食卓や地域の活性化を図ります。地元の味噌とカゴメトマトケチャップを合わせて作る「トマトみそ」は酸味・甘味・コクのバランスが絶妙で、ご当地食材との相性も抜群。東北各地のスーパーなどで試食やメニュー提案を展開中です。また5月13日（土）、14日（日）「カゴメ ナポリタンスタジアム2017」全国大会が開催。地方大会を勝ち抜いた10店舗が東京に大集結。東北代表は福島市『スパゲティハウスニューチャーリー』。東北は第1回大会で優勝しており、連覇が期待されています。

『カゴメ ナポリタンスタジアム 2017』
〔公式サイト〕http://www.kagome.co.jp/campaign/naposta/

東北がさらに熱い絆で結ばれる「東北絆まつり」6月10日（土）・11日（日）開催!

東日本大震災の犠牲となった多くの方の魂を弔い、東北復興の狼煙を上げるために2011年7月に仙台から始まった東北六魂祭は、昨年の青森開催で東北6県を一巡しました。ともに手を取り、東北を一つにするために歩んだ6年の道のり。しかし、東北の復興はまだ道半ば。さらなる未来に向けて、いま、新たな祭りが生まれます。“多彩な東北が、熱い絆でひとつになる。”をコンセプトに掲げた「東北絆まつり」。開催日は2017年6月10日（土）・11日（日）の2日間。西公園や勾当台公園を中心とした会場ではステージやグルメなどの多彩なイベントが実施されるほか、11日（日）13:30～（予定）は定禅寺通から東二番丁通の約1.1kmにわたり、東北6県の祭りが練り歩くパレードも行われます。豊かな明日を願う、この祭りの開催を機に、東北はさらに熱い絆で結ばれ、心をひとつに新たな復興の道のりへと歩み出します。

詳しくは
http://tohoku-kizunamatsuri.jp/

2017せんだい・杜の都親善大使が決定しました。

元気な仙台をPRする仙台の「顔」。2017年のせんだい・杜の都親善大使が、4月8日（土）の審査を経て決定しました。左から柳原莉子さん、計良麻里加さん、猪股真衣さんの3名です。「仙台七夕まつり」「仙台・青葉まつり」「SENDAI光のページェント」をはじめとしたおまつりやイベントを通じて多くの皆さまに仙台の魅力を伝え、活動していきます。親善大使の活動を通してある出会いや学びに、今からわくわくしている3名の大使たち。なお、親善大使の派遣については運営委員会のホームページに掲載している内容をご一読ください。仙台を愛する気持ちを胸に、1年間、笑顔で頑張ります。

問い合わせ／
せんだい・杜の都親善大使選考・運営委員会
Tel.022-265-8184（仙台商工会議所内）
http://sendai-shinzentaishi.com/

ともレポ

volume 70

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

キリン のどごしスペシャルタイム発売記念「Special Time Stand キャラバン in 仙台」が開催されました!

4月28日（金）キリンビールでは、新発売された「キリン のどごしスペシャルタイム」の発売記念としてサンモール一番町商店街で開催されていた「伊達美味マーケット」に1日限定で移動式のバースタンド『Special Time Stand』を出店。「キリン のどごしスペシャルタイム」の有料試飲が行われ、会場は賑わいをみせました。

『Special Time Stand』は、全国の皆様に「キリン のどごしスペシャルタイム」をお届けするため、4月13日に女優の波瑠さんを起用したセレモニーにて東京をスタートし、福岡、広島、札幌と巡って最後に仙台へやってきました。

同商品は麦100%※でつくられた上質な旨みとすっきりとした飲みやすさが特徴で、飲み飽きない豊かな味わいを実現した、「何気ない1日をちょっと特別にしてくれる」キリンがこだわり抜いた自信作。

キリンビール仙台工場の横山工場長による新商品発表セレモニーやキリンの情報発信キャラクター「キリンジョッキーズ」の登場でも会場は盛り上がりをみせ、来場者もサンモール一番町商店街で普段体験することのできないイベントに、スペシャルな時間を過ごしていました。

「キリン のどごしスペシャルタイム」はお近くのコンビニやスーパーなどでも好評発売中!これから夏に向けてご家庭でちょっとスペシャルな時間を過ごしたい時にはぜひお試しください。

のどごしスペシャルタイム リキュール（発泡性）①

※麦芽・大麦・大麦スピリッツを使用。

http://www.kirin.co.jp/products/beer/nodogoshi-specialtime/

ストップ！未成年飲酒・飲酒運転。

6年経った今の現状、変化、思いとは。「震災に関する意識2017」アンケート結果発表

せんだいタウン情報machicoでは、2011年に発生した東日本大震災の翌年から、毎年アンケートを実施しています。今年の回答者590名の貴重な回答から、被災地を思い、感じ考え、何より防災を見直すきっかけになれば幸いです。「心配・悩み」104回答、「風化・危惧」133回答と、この2項目の回答数が多い状況は、現状を映し出している数値となっています。

また、machico会員おすすめの「復興地の企業・お店・商品」も掲載中。知る人ぞ知るグルメ情報や商品を紹介しています。買って・食べて・使って、復興地を応援しましょう!

■「震災に関する意識2017」アンケート結果発表

http://machico.mu/jump/ad/103258

東北6県からワイナリーが大集合!杜の都のワインまつり「バル仙台2016」with アペリティフ365 in 仙台

東北の地を愛する醸造家が魂を注ぎ醸造するワインたちが今年も杜の都仙台に集まります。昨年に引き続き、東日本大震災から力強い復興を続ける、岩手・宮城・福島からもワイナリーが多数参加。また、会場にはアペリティフ365 in仙台ブースに加え、「Amo ITALIA!」ブースが初登場!2020年のオリンピック・パラリンピックのホストタウンである仙台にある本格イタリアンのお店が集まります。陽気な音楽と共に、真夏のワインを楽しもう!

■kappo presents 杜の都のワインまつり「バル仙台2017」with アペリティフ365 in 仙台

開催日時／2017年7月14日（金）～17（月・祝）11:00～21:00
※初日は16:00～、最終日は～19:00
会場／勾当台公園市民広場
主催／杜の都のワインまつり「バル仙台」実行委員会
共催／アペリティフ365 in 仙台実行委員会
協力／Amo ITALIA!

ともレポ

volume 71

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

杜の都の姉妹イベントに共通商品券が登場!!

「バル仙台」と「仙台オクトーバーフェスト」。毎年多くの来場者でにぎわう2つの人気イベント双方で使える共通商品券が登場します。商品券はバル仙台会場で販売するほか、せんだいタウン情報machicoで会員登録をし、コメント投稿や会場に設置されるQRコードの抽選などで手に入る予定です。

バル仙台・仙台オクトーバーフェスト共通商品券

杜の都のワイン祭り バル仙台2017
with アペリティフ365 in 仙台2017

開催日時/7月14日(金)～17日(月・祝)
11:00～21:00
(初日16:00～、最終日～19:00)
会　　場/勾当台公園市民広場

東北で活躍する醸造家が作り出す地ワインと各国の輸入ワインを、大鍋のパエリアなどおいしい料理と一緒に楽しむことができるイベント。

同時開催の「アペリティフ 365 in 仙台」では、普段イベントでは食べることのできない仙台のトップフレンチシェフによるアミューズが堪能できる。今年は、「Amo ITALIA！」も参加し、イタリア料理や文化に触れることもできそう。

杜の都のビール祭り 仙台オクトーバーフェスト2017

開催日時/9月16日(土)～24日(日)
土・日・祝　11:00～21:00
平日　　16:00～21:00
会　　場/錦町公園

本場ドイツのビール・料理・音楽に、東北の食材とアーティストを加えた「杜の都のビール祭り」として2006年から開催している仙台オクトーバーフェストも今年で12回目。

会場では、初めて会う人々が笑顔で仲良く肩を組み、踊り、歌う光景が見られるほどの盛り上がり。客席は大型テントで覆われているため、雨天でも安心して参加できるのも魅力。

第5回千年希望の丘植樹祭2017を開催しました&育樹ボランティアを募集しています

5月27日(土)、岩沼市新浜地区において、「第5回千年希望の丘植樹祭2017」が開催されました。当日は全国から約4千人の植樹ボランティアがこの地に集い、タブノキ、シラカシ、スダジイなど21種類、約3万本の苗木を植樹しました。大規模に行う植樹祭は今回で最後となりました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。

現在、植樹した苗木の成長促進のため、育樹ボランティア(除草ボランティア)を募集しています。一緒に森づくりを行いませんか。

■育樹ボランティア募集先
お問い合わせ/
岩沼市千年希望の丘交流センター
(岩沼市下野郷字浜177番地)
Tel.0223-23-8577

うつわで暮らしに彩りを。「第6回全国やきものフェアinみやぎ」開催!

「全国やきものフェア in みやぎ」は、2012年、東日本大震災の翌年に初めて開催されました。会場は津波で大きな被害を受けた夢メッセみやぎ。夢メッセみやぎにとっても復興の歩みが重なるイベントで、県民の皆さまの暮らしに器を通した日常的な潤いを取り戻してほしいという思いを込めて毎年開催されています。

今年も全国120の窯元や作家による作品の販売はもちろん、ガラスや漆など、食卓を彩るテーブルウェアがたくさん。洋食器のノリタケ、ハンドメイドガラスのSghrスガハラを特集した展示や、出展社による「伊達なうつわ」コンテストなどみどころ満載。北海道の「旨い!」も集結!

開催日時／7月13日(木)～17日(月・祝)
10:00～17:00
(最終日～16:00まで)
会　　場／夢メッセみやぎ　本館展示棟
主　　催／東北放送、河北新報社、
(一財)みやぎ産業交流センター
http://yakimono.miyagi.jp/

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす
東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

ともレポ

Tomoni Project Report volume 72

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

仙台市若林区荒浜『深沼海水浴場』で2日間限定の海イベントを開催します。

あらはま ワイワイキャンパス

震災前は多くの海水浴客でにぎわっていた『深沼海水浴場』で7月29日（土）・30日（日）、七郷小学校と蒲町小学校に通う児童とその保護者参加による海イベント「あらはまワイワイキャンパス」が開催されます。2日間限定でライフセービングやビーチバレーの体験講座、ビーチクリーンなどが予定されており、海で遊ぶ楽しさと安全や自然を大切にする心を育む夏休みイベントになっています。会場には荒浜の街づくりに様々な関わりで復興を支え・見つめてきた方々からもお話を伺う、ラジオ局が登場します。荒浜地域にかつてあった暮らしを知り、新たなにぎわいを考える2日間。仙台市内唯一の海水浴場『深沼海水浴場』での本格的な海開きを考える第一歩がスタートします。

あらはまワイワイキャンパス
開催日時／7月29日（土）、30日（日）10:00～14:00
場　　所／仙台市若林区荒浜『深沼海水浴場』
参加対象／七郷小学校及び蒲町小学校に通う児童とその保護者（事前申込制）
主　　催／仙台市
共　　催／七郷地区町内会連合会、荒浜自治会
協　　力／特定非営利法人 日本ライフセービング協会、仙台大学、宮城県ビーチバレーボール連盟

■特別協賛：Asahi アサヒグループ　アサヒグループホールディングス株式会社
■協　　賛：株式会社仙台銘板
生活協同組合 あいコープみやぎ　株式会社ユーメディア
株式会社プレスアート　株式会社仙台シティエフエム

夏の夜に荒浜小学校で灯りをともします。

お盆の終わりに行われる貞山堀での灯籠流しは、荒浜地区の夏の風物詩でした。大震災後も荒浜に暮らしていた皆さんの手によって毎年続けられてきましたが、安全性を考慮して明るい時間に行われています。今年は灯籠流しが開催される日（8/19（土）16～17時）の夜、夏の夜の灯籠流しに思いを馳せて、震災遺構荒浜小学校で手づくりの灯りをともします。さまざまな灯りがともる日の荒浜に足を運んでみませんか。

イベント内容／○夜の灯りづくりワークショップ
○お絵描きうちわ屋さん（11～14時）
○荒浜小学校に灯りをともす（17～19時）
※各イベントの詳細はお問い合わせください。

夏の荒浜に灯りをともそう
開 催 日／8月19日（土）
会　　場／震災遺構仙台市立荒浜小学校（仙台市若林区荒浜字新堀端32-1）
主　　催／荒浜の灯り実行委員会
共　　催／せんだい3.11メモリアル交流館
お問い合わせ先／荒浜の灯り実行委員会（事務局:震災遺構仙台市立荒浜小学校）
Tel.022-355-8517

大震災から7年目の東部沿岸地域をみつめる企画展

東日本大震災から7回目の夏を迎える仙台市東部沿岸地域。今回の企画展はこの地域に点在する集落について、これまでの歴史や目に見える風景、住民の方々が語った言葉などを展示していきます。あわせて、参加者とともに外へと出かけて活動に触れ、思い出と記録を重ね、展示に新たな情報を加えながらより豊かに伝えていきたいと考えています。会期中は若林区出身のミュージシャン・佐藤那美さんがさまざまな場所で拾い集めた音をつなぎ合せて作った音楽にも耳をかたむけてみましょう。

みんなでつくるここの地図
開催日時／～10月22日（日） 10:00～17:00
会　　場／せんだい3.11メモリアル交流館
休 館 日／月曜・祝日の翌日（土・日・祝日は除く）
入場無料
http://sendai311-memorial.jp/feature/2017exhibition02/

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす
東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

ともレポ

Tomoni Project Report volume 73

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

仙台市若林区地域「深沼海水浴場」で海イベントが開催されました。

あらはま ワイワイキャンパス

震災前は多くの海水浴客でにぎわっていた「深沼海水浴場」で7月30日（日）に海イベント「あらはまワイワイキャンパス」が開催されました（29日は荒天のため中止）。ライフセービングやビーチバレーの体験講座やサンドアートなど砂浜エリアでは海で遊ぶ楽しさと安全や自然を大切にする心を育む講座が行われました。荒浜らしく波が高く、当日は遊泳できませんでしたが、波の音や風を感じて、海のある暮らしの豊かさを感じ、会場に訪れた小学生も保護者も笑顔で過ごしていました。

あらはまワイワイキャンパス
主　　催／仙台市文化観光局観光交流部観光課
共　　催／七郷地区町内会連合会、荒浜自治会
協　　力／特定非営利法人　日本ライフセービング協会、仙台大学、宮城県ビーチバレーボール連盟

■特別協賛：その感動を、わかちあう。Asahi アサヒグループ　アサヒグループホールディングス株式会社

■協　　賛：株式会社仙台銘板
生活協同組合 coop あいコープみやぎ　株式会社ユーメディア　株式会社プレスアート　株式会社仙台シティエフエム

荒浜の海に再びにぎわいを!

住民グループ「荒浜再生を願う会」では、震災後、津波で全てを失われた荒浜の深沼海水浴場での、蘇生活動「アラハマリボーン」を続けています。毎月第2日曜に定期的に清掃やイベントをすることで、海辺に人々が戻り、賑わいを取り戻すための活動が続いています。海辺のゴミ拾いをした後は、手作りの豚汁や、今や名物となった石窯焼きのピザがふるまわれ、ピザ窯で焼き方を体験できるのも人気です。この土地は震災後、災害危険区域に指定されており、今後は海辺の土地利活用なども検討されていきます。故郷を取り戻す活動は、一過性ではなく息の長いものを。参加は申込不要。動きやすい服装で気軽に参加ください。

開催日／毎月第2日曜
場　所／里海荒浜ロッジ（仙台市若林区荒浜字中丁27）
申　込／不要・直接現地へお越しください
参加費／無料
問い合わせ先／Tel.070-5059-9869（庄子智香子）
メール:arahama.reborn@gmail.com

昔ながらのずんだ餅を作りました

4月に蒔いた枝豆を使ったずんだ餅づくりが、8月5日（土）に仙台市若林区三本塚地区の津波避難ビルで開催されました。大人も子どもも一緒になって畑にしっかりと根のはった枝豆を収穫。枝からさやをもぎ取る作業、茹でてさやから取り出すところも全て手作業です。その後は大きなすり鉢と、居久根（イグネ:仙台平野の屋敷林の名称）の一部として育った山椒の木を切って作ったすりこぎで豆をつぶしていきました。三本塚のお母さんに教えられながら、子どもたちは懸命にチャレンジしました。丸い豆がどんどん形を崩していき、見たことがある「ずんだ」になっていきます。力も根気もいる作業を、皆で最後まで踏ん張り完成!　おいしくいただきました。9月にはサツマイモの収穫も予定しています。参加者募集中です!

問い合わせ先／せんだい東部復興市民会議
Tel.090-9636-5792
メール:sendai_toubu_fukkou@yahoo.co.jp

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす
東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

ともレポ

Tomoni Project Report volume 74

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

海イベント「あらはまワイワイキャンパス」の様子

あらはま ワイワイキャンパス

仙台市若林区地域「深沼海水浴場」で7月30日（日）に行われた海イベント「あらはまワイワイキャンパス」の当日の様子を追加レポート。写真に写った笑顔に、海に触れることの喜びを何よりも感じます。

あらはまワイワイキャンパス
主　　催／仙台市文化観光局観光交流部観光課
共　　催／七郷地区町内会連合会、荒浜自治会
協　　力／特定非営利法人　日本ライフセービング協会、仙台大学、宮城県ビーチバレーボール連盟

■特別協賛：アサヒグループホールディングス株式会社

■協　　賛：株式会社仙台銘板
あいコープみやぎ　ユーメディア
プレスアート　仙台シティエフエム

せんだいイーストキッチン vol.03 2017秋

仙台東部エリアの魅力の一つである「食と農」の魅力を伝えるイベント「せんだいイーストキッチン」の第3回を11月4日（土）に実施します。今年は「おいしく育てて、おいしく食べよう」をテーマとし、農業体験イベントで育ててきた野菜の販売や試食をはじめ、地元の生産者さんによる産直市場「昼市」も開催します。ぜひご参加ください。

開催日時：11月4日（土）11:00～13:00
場　　所：東六郷コミュニティ･センター（仙台市若林区二木字山王77-2）

せんだい3.11メモリアル交流館でお月見イベント

仙台市東部沿岸地域では、中秋の名月（八月十五夜）を「まめげっつぁん（豆名月）」、九月十三夜を「いもげっつぁん（芋名月）」と呼んでお月見をしてきた地域があります。今年は10月4日が中秋の名月。交流館から見える月はどんな月？一緒にお月見を楽しみましょう!

まめげっつぁん
開催日時：10月4日（水）18:00～20:00
場　　所：せんだい3.11メモリアル交流館 屋上庭園
協　　力：荒浜再生を願う会
料　　金：入場無料
＊小学生以下の方が参加される場合は、保護者の同伴が必要です。
http://sendai311-memorial.jp/feature/2017exhibition02/

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす
東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

ともレポ

Tomoni Project Report volume 75

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

「観光地域づくり」をテーマとした新しい共同研究が始まりました。

人口減少・少子高齢化に直面する国の重要課題のひとつが「地方創生」です。そこで、地域の活性化の原動力にしようと注目されているのが“観光”。しかしながら、東北地方の観光には大きな2つの課題があると考えています。それは、“経験と勘”に頼った観光プロモーションと、魅力的な観光資源の不足です。

そこで今回、東北大学大学院工学研究科インフラマネジメントセンターと株式会社ユーメディアが観光に関わる共同研究を実施することになりました。研究のテーマは2つの観光課題に対応したもので、一つが注目されている*1「インフラツーリズム*2」等の観光資源の磨き上げ。もう一つが、消費者の観光に関わる消費行動の可視化と、DB連携による科学的なマーケティング施策の実現です。

初年度となる2017年度は、川崎町を実証地域として産学官が連携し、インフラ資源を中心とした観光資源の掘り起こし・磨き上げと、そのプロモーション効果の可視化を図る取組みを行っています。

8/19に開催された「ダム探検＆コンクリートを学ぶツアー」

フォトロゲインでは、町のいろんなスポットの魅力をスポーツを通して発見してもらいます

川崎町の観光課題

- **魅力的な観光資源の発掘**
  規模・集積度・交通手段等
- **リアルプロモーションの弱点**
  効果検証がしにくい

↓

「インフラツーリズム」
地域に存在するニッチな観光資源の掘り起こしと磨き上げ
東北大学大学院
インフラマネジメント研究センター

×

「スマートフォンアプリとDMP*3」
モニタリング可能なスタンプラリーと、効果分析
株式会社ユーメディア

2017年度のプログラム展開

第1弾	ダム探検&コンクリートのひみつツアー （8/19）
第2弾	川崎町フォトロゲイン大会 （10/14）
第3弾	人の暮らしをつなぐ「橋のひみつ」ツアー （11/18）

＋ スマートフォンアプリ & DMP

*1：政府は「明日の日本を支える観光ビジョン（平成28年3月30日）」達成のため、インフラツーリズムを施策の柱の一つにした。また、ダムを中心にインフラ観光への人気が高まる（ダムガール、写真集出版等）。
*2：ダムからの放水や、高所から見下ろす橋、巨大地下空間等、人工構造物としての美しさや迫力を楽しめる土木建築施設を観光資源として活用する考え方。
*3：DMPとは、「インターネット上に蓄積された様々な情報データを管理するためのプラットフォーム」のことです。ここで言う情報データとは、ユーザーの属性や、興味関心、購買行動等のデータを意味します。

想いと行動をつなぐ大きな支援の輪をめざす
東日本大震災復興への取り組み「ともにPROJECT」活動レポート

ともに PROJECT ACTION みやぎ
www.tomoni.net
東日本大震災復興支援

ともレポ

Tomoni Project Report volume 76

私たちユーメディアグループは、地域とともに歩んできた企業としての役目を果たすべく「ともにPROJECT“ACTIONみやぎ”」という地域復興支援活動を展開しています。

株式会社ユーメディア／株式会社プレスアート／株式会社仙台シティエフエム

SENDAI光のページェント「クリスマスマーケット」今年も開催!!

杜の都仙台の冬の風物詩SENDAI光のページェントで恒例の「Sendai Winter Park スターライトリンク」に隣接して、おしゃれなオーナメントやキャンドル、ソーセージやグリューワインの販売など本場ドイツのクリスマスが堪能できる「クリスマスマーケット」が今年も開催されます。まるで童話にでてきそうな木の小屋や人形たちがフォトジェニックな空間を演出します。暖房付きの客席テントで寒さを気にせず屋外のクリスマスを楽しめるのもうれしい。

開催日時／12月8日（金）～25日（月）※11日（月）・13日（水）・14日（木）・18日（月）は休業（スターライトリンクは営業）
平日16:00～22:00　土日祝12:00～22:00　※25日は12:00～
会場／勾当台公園市民広場
主催／SENDAI光のページェント実行委員会
共催／仙台放送

お土産にもなる災害備蓄用ラスク缶詰を仙台・宮城から発信!

宮城県内で5店舗の『石窯パン工房ばーすでい』を経営している株式会社藤商事は、東日本大震災の経験から食パンの耳を使用した災害備蓄用ラスク缶詰「かりっ子」を、さらにパン自体を使用した「伊達な和らすこ」を開発しました。宮城県産「ひとめぼれ」の米粉を使用しパン職人が丹念に焼き上げたラスクです。「かりっ子」はチョコレート、黒糖、みそかりんとうの3種類、「伊達な和らすこ」は仙台味噌とバターシュガーの2種類の味があります。地元の人だけではなく県外の人にも食べてもらうことで、災害への備えや震災の風化を食い止めたいという思いから、災害備蓄用だけではなくお土産としても販売されています。仙台・宮城のお土産として定着させることを目標に、ぜひ多くの方に食べていただきたいです。

お問い合わせ/株式会社藤商事
Tel.022-767-8351
HP http://ishigama-birthday.jp/

「元気食堂」で三陸・石巻地域の旬を堪能しませんか?

石巻の「元気」と「おいしい」をお届けする『いしのまき元気いちば』2階にある『元気食堂』。元気食堂ではメニューをリニューアルし、今まで以上に、地元の旬の海産物、水産加工品から、農産品、物産品を味わえるようになりました。席も約140席あり、ゆったりとしたお時間を過ごせます。三陸・石巻地域の“今”おいしいものをまるごと堪能できる食堂、『元気食堂』でお待ちしております!

元気食堂 GENKI SHOKUDO

営業時間／11:00～20:00
※料理のご注文は11:00～14:30、17:00～19:30となります。
　1F 物販コーナーは9:00～19:00となります。
定休日／第3火曜（年末年始・お盆・連休等は別途確認下さい）

石巻市中央2-11-11　いしのまき元気いちば2F
Tel.0225-98-5539
HP http://genki-ishinomaki.com/

東部沿岸部集団移転跡地利活用に係る説明会が開かれました。

仙台市では、11月9日震災遺構荒浜小学校を会場に、津波被災地における集団移転跡地利活用を希望する民間事業者向け現地説明会を開催しました。事業者と地域の方がともに新たなまちづくりを進めていく事業提案となるよう、当日は地域で活動を続ける方々からの発表の時間も設けられ「震災後、空き地に見える場所にもかつての暮らしがあり、今がある。歴史を学びながら、これからのまちづくりを考え、地域を好きになり、互いに尊重しあえる事業者を求めたい」と語りかけました。事業参加表明状況は18事業者（法人11、任意団体5、個人2）。今後は年内の事業提案提出、年明けの1次・2次審査を経て事業候補者の選定が行われます。

お問い合わせ
仙台市都市整備局復興まちづくり課
Tel.022-214-8584